

NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA
新・奥の細道

一周ルート
⑭

将棋と若松寺のみち
Shogi-to-Jakushoji-no-michi



山形県

周辺の
アクセス
ガイド

天童までは
JR山形駅から奥羽本線で天童駅
まで20分。
山形空港よりタクシーで10分。



| | | |
|------------|----------------------------------|---------------|
| 観光・宿泊のお問合せ | 天童市観光物産協会 〒994 天童市本町1-1-1 | ☎0236-53-1680 |
| | 天童市商工観光課 〒994 天童市老野森1-1-1 | ☎0236-54-1111 |
| 交通のお問合せ | JR天童駅 〒994 天童市本町1-1-1 | ☎0236-53-2071 |
| | 山形交通天童管理センター 〒994 天童市鎌田2-4-16 | ☎0236-53-2371 |
| コースのお問合せ | 天童市商工観光課 〒994 天童市老野森1-1-1 | ☎0236-54-1111 |
| | 山形県自然保護課 〒990 山形市松波2-8-1 | ☎0236-30-2204 |

表紙の写真は、原崎沼

みどころ案内
GUIDE

若松寺

Jakushoji

縁結びの観音様として知られ、和銅元年(708年)の創建と伝えられる寺院。花笠音頭の歌詞にある「めでためでたの若松様」とはこのお寺のことで、板絵着色神馬図と金銅聖観音像懸仏の二つの国指定重要文化財も納められている。最上三十三観音第一番札所。



若松寺

若松窯

Wakamatsu-gama

若松焼きは、若松周辺の粘土を使用し、天童名産の将棋駒、こけしの工房から出る「つけ」「けやき」「いたや」等の木灰でうわぐすりを作り、焼き上げた手作り陶器である。白色の釉が、素地の粘土に含まれている微量の金属酸化物と高温で反応してブルーに発色するのが特徴。体験教室も随時開催されている。

問い合わせ先 ☎0236-54-7789

原崎沼

Barazakinuma

弘化2年(1845年)につくられた人工の溜池で、広さ約4.5ha。秋から冬にかけては、カモの飛来地として有名で、越冬するカモの種類は、カルガモ・コガモ・オナガガモ・ヒドリガモ等12種類で、多い時には1日で5,000羽以上もの数が確認されている。かつては独特のカモ猟(沼の周りに仕掛網を巡らしカモが掛るのを待ち生け捕りにする猟)が行われていた。

現在ではヘラ鮎釣りのメッカとして知られ、多くの釣りファンで賑わっている。



冬景色の原崎沼

将棋駒といて湯のふる里、そしてフルーツの里、「天童」の、歴史と自然を満喫できる、自然歩道です。コースには、将棋駒ゆかりの歩道詰将棋、国の重要文化財の絵馬が奉られている「若松寺」や、鴨の来る沼、さらには、ヘラ鮎釣りのメッカとして市民に親しまれている「原崎沼」などがあります。

天童と将棋駒

Tendo-to-shogigoma

全国の95%以上の生産量を誇る天童の将棋駒は、幕末の天童藩家老、吉田大八が藩士の内職として奨励したのが起こりと言われている。独特の草書体が天童駒の特徴であるが、現在では、書き駒を始め、彫り駒、最高級と言われる盛上駒も生産され、名人戦を始め、多くのタイトル戦で天童産の駒が使われている。



将棋駒のいろいろな書体

天童温泉

Tendo-onsen

明治19年、かんがい灌漑用水確保のために、鎌田原に井戸を掘ったところ微温水が湧き、「鎌田温泉」と呼ばれていた。明治44年には高温の源泉が掘られ「天童温泉」と改称された。

この温泉の効能は、皮膚病、神経痛、関節痛、疲労回復、健康増進などで、特に肌に優しいことから女性に人気がある。



天童温泉全景

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



"新・奥の細道"とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特徴ある文化や歴史と親しむためのみちです。

"新・奥の細道"は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この"新・奥の細道"は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで792kmとなっています。

この"新・奥の細道"を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。

この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元還元融資を受けてつくられました。